

オール讀物創刊 90 周年ムック

「佐藤愛子の世界」(仮)

『九十歳、何がめでたい』がベストセラーになってから早4年。御年98歳を迎えられる直木賞作家・佐藤愛子さんのムックをオール讀物90周年の特別版として発売します。『ソクラテスの妻』(1963年)、『戦いすんで日が暮れて』(1969年)など人気小説を再録するのみならず、勝目梓氏や井上ひさし氏、小池真理子さんといった豪華メンバーとの対談も多々収録した完全保存版となっています。数多くの佐藤愛子ファンにお届けするこのムックに広告出稿をご検討いただきたく、よろしくお願いたします。

版型：A5版 頁数：256P 発売日：2021年6月17日(木) 予定

発行部数：2万部 価格：¥1200(予価)

広告スペース：

表4(天地 165mm×左右 145mm) グロス 30万円

表2(天地 210mm×左右 145mm) グロス 30万円

中面活版 1P(天地 179mm×121mm・枠付) グロス 10万円

申込締切：5月20日(木) 原稿締切(投げ込み)：6月2日(水)

目次(予定)

【小説再録】

「ソクラテスの妻」「戦いすんで日が暮れて」「オンバコのトク」「院長の恋」(自作解説+年譜+ブックガイドつき)

【作家としての歩み】

自伝『誰にも青春があった』より「それは淀んだ暗い沼の中だった」「暇あって金なし」「文芸首都の若者たち」『直木賞がくれたラブレター』

対談 × 勝目梓『我らが文学修業時代』

【抱腹絶倒】

本誌ルポ『愛子の小さな冒険』より「恋愛ホテルの夜は更けて」「パトカー同乗 深夜に行く」「ピンク映画ただいま撮影中」「誰のための万博なのか」(大阪万博開会式)「こんばんは、ノゾキます」「鼻高きが故に幸せならず」「なにが進歩と調和だよ」(大阪万博閉会式)

【昭和文壇交遊録】

対談 × 遠藤周作『人生の親友』 『変な人たち』『ああ、川上宗薫』

【佐藤家について】

対談 × 井上ひさし『ハチローの青春無頼』 『『血脈』を語る』

対談 × 小池真理子『『晩鐘』を書き上げた理由』

【豪華対談】

× 田辺聖子『“私の愛子、と“怒りのお聖、』 × 津村節子『熟年離婚 妻達を叱る』

× 又吉直樹『人生には貧乏が必要だ』

文藝春秋メディア事業一部・圓谷(えんたに)

電話 03-3288-6173 [メール entani@bunshun.co.jp](mailto:entani@bunshun.co.jp)